北海道新型コロナウイルス感染症対策本部
第１０１回本部会議　記録

日　時／令和４年３月１５日（火）
１７：３０～１７：４８
場　所／本庁舎３階　テレビ会議室

【副本部長（小玉副知事）】
これより、北海道新型コロナウイルス感染症対策本部の第101回本部会議を開催します。
まず、道内の感染状況等について、新型コロナウイルス感染症対策監から説明願います。

【原田新型コロナウイルス感染症対策監】
資料１をご覧ください。主な指標の状況についてですが、昨日時点で、新規感染者数は、引き続き、今週先週比が１を下回り、10万人当たりですけれども、札幌市267.4人、札幌市を除く地域が181.2人、全道213.6人と先週に続き、減少傾向が続いております。療養者数につても、同様の傾向です。病床使用率ですけれども、全道で26.8%、札幌市を除く地域で24.3%と、先週に引き続き減少しておりまして、特に札幌市は32.5%と、先週に比べて大きく減少しております。
続いて、地域における状況ですけれども、新規感染者数ですが、一部圏域で増加の動きも見られますが、多くの圏域において、減少しているという状況です。また、病床使用率についても減少傾向にありまして、特に道央圏、また十勝圏で大きく減少しているという状況になります。
総評です。療養者数ですが、減少傾向が継続しています。病床使用率も、３月２日、延長の判断をした時点ですけれども、37.7%が26.8%と減少し、まん延防止等重点措置適用時の水準である24.3%に近づきつつある状況です。札幌市を含め地域の病床使用率も減少しています。医療機関等での集団感染事例の確認が続いておりますが、件数は減少しているという状況です。
感染状況です。新規感染者数は、３月２日の10万人あたり283.0人から、213.6人となり、まん延防止等重点措置適用時の水準である246.9人を下回っているという状況です。全道各地で感染確認は続いていますものの、2,000人を超えていた１日平均の新規感染者数ですが、約1,500人となったところです。
今後の対策です。新規感染者数及び病床使用率も減少傾向が続いておりまして、新規感染者数はピーク時の467.8人から半分以下に、また、病床使用率もピーク時の40.1%から大きく減少しています。65歳以上の高齢者の６割、100万人を超える方がワクチンの追加接種を終え、今後さらに接種が進むことも見込まれます。国のまん延防止等重点措置の終了の考え方も踏まえまして、３月21日までとされている重点措置につきましては、国に延長を要請しないこととしたいと考えてございます。しかしながら、１日1,000人を超えます新規感染者数が確認されている中、今後、就職や卒業・進学等に伴う人の移動や会食機会の増加など、感染リスクの高まる時期を迎えることとなります。今後の再拡大を防止することが重要でございまして、３月21日までの重点措置の下、対策の徹底を図ることはもとより、重点措置終了後においても、年度末から年度始めにかけて、ＢＡ．２系統を含め、オミクロン株の感染力の強さを念頭におきながら、感染リスクの高まる場面や感染が広がっている場所におけます感染防止行動の徹底を図ってまいります。
残りのスライドについて、何点か補足として説明いたしますと、まず、年代別の新規感

染者数について、30代以下、60代以上、いずれの年代においても感染者は減少が継続しております。特に、60代以上の感染者数の減少幅が大きくなってございまして、全感染者数に占める割合も減少しているという状況です。

続いて、集団感染の発生状況ですけれども、医療施設・福祉施設とも集団感染事例が全道で継続して確認されておりますが、先週、先々週と比較いたしますと、その件数・人数ともに、いずれも減少が見られているところでございます。

続いて、人出の状況です。札幌市の主要地点におけます21時の人出の状況ということで、それぞれまん延防止等重点措置適用後は減少しておりますけれども、２月に入りまして、徐々に増加が見られております。足下では、まん延防止等重点措置適用前と比べまして、すすきの駅は下回っておりますものの、札幌駅は上回っているという状況になります。

続いて、ワクチンの接種状況ですけれども、３回目接種を終えた方ですが、３月14日現在、ＶＲＳベースで約152万人、全人口に対します接種率ですけれども、29.0％となっています。このうち、65歳以上の高齢者については、約107万人、接種率は64.2％となっているという状況です。

その他のワクチン接種の関係でございますけれども、 まず、北海道ワクチン接種センターの予約率ですけれども、３月19日から27日までの５日間については、70.6％となっております。３月20日接種分までは予定数に達しているという状況になります。次の次の〇ですが、12歳以上17歳以下の方への３回目接種について、３月11日に国から自治体向けに、早ければ４月から接種が可能となる見込みであり、接種体制の確保や接種券発行等の準備を進めるよう通知がありました。道といたしましては、国の動向を注視し、情報収集等に努めますとともに、円滑な実施に向けた市町村支援に取り組んでまいります。

その他のスライドについては、本日の説明に関しますデータを載せておりますので、のちほどご覧いただければと思います。

私からの説明は以上です。

【副本部長（小玉副知事）】

次に、札幌市の感染状況について、オブザーバー出席いただいております札幌市保健所の山口感染症担当部長から、説明をお願いいたします。

【山口札幌市感染症担当部長】

資料２に基づきまして、札幌市の感染状況についてご説明いたします。それでは、最初のスライドをご覧ください。新規感染者の１週間の合計についてでありますが、昨日の３月14日時点で5,246人、人口10万人当たりでは267.4人となっており、減少傾向が続いています。

それでは、次のスライドをご覧ください。入院患者数の黄色い棒グラフでございますが、昨日時点で196人と１ヶ月ぶりに200人を下回る形になりました。赤の折れ線グラフでございますけれども、重症患者数につきましては、昨日時点で１人となっているところでございます。

それでは、最後のスライドをご覧ください。検査件数でございますが、直近の１週間では15,109件、陽性率は昨日の時点で34.7％となっております。

高止まりしていました入院患者数にも減少が見られてきておりまして、直近の病床使用率は30％近くにまで低下している状況でございます。一方で、３月下旬から４月にかけては人の動きが活発になることから、今後も感染対策を継続するとともに、ワクチン接種を進めていくことが重要と考えてございます。

以上です。

【副本部長（小玉副知事）】
次に、再拡大の防止に向けた対策の考え方につきまして、総合政策部長から説明をお願いいたします。

【濱坂総合政策部長】
それでは、資料３をご覧いただきたいと思います。ここでは、重点措置が終了した場合における対策の考え方を整理をしてございます。スライド１の基本的考え方でございますが、今後、就職や卒業、進学等に伴う人の移動や会食機会の増加など、感染リスクが高まる時期を迎えますことから、重点措置が終了した場合においても、引き続き、基本的な感染防止対策の徹底を図ることといたします。具体的には、オミクロン株の感染力の強さを念頭におき、国の基本的対処方針を踏まえ、感染リスクの高まる場面、感染が広がっている場所における対策の徹底を図ることとし、今後の基本的対処方針の見直しを踏まえて、具体的な内容を検討することといたします。
スライド２をお願いします。現時点における主な対策の考え方について、ご説明いたします。道民の皆様には、歓送迎会など飲食の際は、短時間で、会話の時のマスク着用、それから、特に大人数や普段会わない方との飲食の際は、より一層の徹底をお願いしたいと考えており、事業者の皆様には、入社、人事異動、転勤などによる人の入れ替わりを踏まえた感染防止のための取組、それから、飲食店の皆様には、営業時間の短縮や、４人以内など人数制限の要請は行わないことといたしますが、感染防止対策チェックリスト項目の遵守、それから、特に会話をする時のマスク着用徹底の呼びかけをお願いしたいと考えてございます。それから、高齢者施設や学校など感染が広がっている場所においては、職員の健康管理などを含めた、基本的対策の徹底などをお願いしたいと考えてございます。また、イベントの開催につきましては、感染防止安全計画を策定した場合は、これまで、20,000人を上限としていましたが、人数上限を設けないこととしたいと考えてございます。今後、重点措置の終了について国の決定、そして、基本的対処方針の見直し内容などを踏まえ、具体的な内容については、検討することといたしたいと考えてございます。
次にお手元にお配りをしております資料４をご覧いただきたいと思います。道内の感染状況等について、有識者の皆様などにご確認をいただいたところ、有識者及び専門家の皆様からは、概ね妥当であるというご意見をいただいておりますが、（１－①）医療提供体制、感染状況に関する認識に概ね異論はなく、社会経済活動への影響も考慮して重点措置を延長しないとの判断は了とする。（１－③）今後も感染防止行動の徹底を図ることや、３回目のワクチン接種の促進を発信してほしい。２ページ目をお願いいたします。（１－⑥）感染対策の重要性を引き続き道民にＰＲしてほしいといったご意見をいただいたところでございます。市町村、関係団体の皆様からも、概ね妥当であるというご意見でございましたが、（２－①）教育現場をはじめ、若年者層を中心とした感染対策を重点的に講ずるべきなどといったご意見をいただいたところでございます。
以上でございます。

【副本部長（小玉副知事）】
ただいま説明のありましたとおり、まん延防止等重点措置につきましては、更なる延長は要請しないことといたしたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。それでは、そのように決定いたします。
この他、各部、振興局等からご発言はございませんか。それでは、本部長からお願いいたします。

【本部長（知事）】

本日の新規感染者数1,196人という形であります。人口10万人当たりでは211人となりました。病床使用率につきましては、26.8%となっています。新規感染者数、病床使用率、減少傾向が続いています。新規感染者数については、ピーク時人口10万人当たり467.8人でしたので、新規感染者数についてはピークと比べると半分以下になりました。病床使用率についても、ピーク時40.1%でしたので、26.8%という状況ですので、ピーク時と比べて大きく減少しています。さらに、ワクチン接種についてでありますが、65歳以上の高齢者の６割、100万人を超える方が３回目の接種を終えました。今後さらにこの接種については、進んでいくということが見込まれる状況にあります。

こうした道内の状況、そして、新規感染者数や病床使用率が減少傾向にあるといった国のまん延防止等重点措置終了の考え方、これを踏まえて、３月21日までとされている重点措置につきましては、国に対して、さらなる延長は要請をしないということといたします。今後、国において、専門家の意見を踏まえて、重点措置の終了については判断が行われるということとなるわけであります。これまで重点措置について、ご理解、ご協力をいただいております道民の皆様、事業者の方々をはじめとして、普及啓発、職員の派遣などにご協力をいただいております市町村の皆様、そして、地域の関係者の皆様、昼夜を問わず患者への対応にご尽力をいただいております医療従事者の皆様など、関係の皆様に知事として心から感謝を申し上げます。

しかしながら、依然として、１日当たりの新規感染者、1,000人を超えるという状況にあります。また、高齢者施設などにおける集団感染も継続して確認されているという状況があります。こうした中において、今後、就職や卒業、進学などに伴う人の移動や会食の機会、これが増加をするということなど、感染リスクが高まる時期を迎えるということになります。これまでも、こうした人の活動が活発になることをきっかけとして、感染が拡大してきたという経験があります。今後の再拡大を防止する、このことが何よりも重要になってきます。皆様には、引き続き、まずはこの３月21日までは、まん延防止等重点措置、これが続きますので、３月21日までまん延防止等重点措置の下で、感染防止行動の徹底、これをお願いします。

また、今後は国が重点措置を終了するかどうか判断するという形になりますが、重点措置が終了する場合においても、年度末から年度始めにかけて、ＢＡ．２系統を含めたオミクロン株の感染力の強さ、これを念頭に置いて、感染リスクの高まる場面、感染が広がっている場所、この場面・場所における対策、これをお願いいたします。

特に、これから歓送迎会のシーズン、これを迎えるわけでありますが、飲食の場面はどうしても感染リスクが高まるということがありますので、警戒が必要です。道民の皆様には、会話の時のマスク着用などの徹底、これを呼びかけていきたいというふうに考えています。

飲食店等の皆様には、営業時間の短縮や人数制限、この要請は行わないこととしたいと考えておりますが、感染防止対策チェックリスト項目、この遵守、会話の際のマスク着用の徹底、これを呼びかけていただくということをお願いいたします。

また、高齢者施設、学校など、感染が広がっている場所においても、基本的対策、この徹底を引き続きお願いをすることとし、詳細な内容については、今後、国の基本的対処方針、この見直し、これを踏まえて、検討していくこととします。

各本部員においては、ここで気を緩めることなく、市町村や関係団体と連携をして、３月21日までの重点措置、そして、その後の対策について、しっかりと取り組んでほしいと思います。

また、感染防止対策を徹底をしながら、社会経済活動の回復の両立に向けて取り組んでいくことも重要です。現在、全国的にも重点措置の終了に向けた動きがあるわけでありますが、この重点措置が終了すると、どうしても安心をしてガードが下がるということがあるわけであります。しかしながら、繰り返しになるわけでありますが、今後、感染リスクが高まる時期、これを迎えるということがありますので、社会経済活動の回復に向けた取組についても、感染防止対策を徹底した上で、進めていかなければならないということがあります。今後、まん延防止等重点措置が終了する場合には、どうみん割、ぐるっと北海道、GoToEatといった需要喚起策についても、それぞれの事業における感染対策の徹底、これを前提として、速やかに再開ができるように、検討を進めてほしいと考えています。

私からは以上です。

【副本部長（小玉副知事）】

本部長から指示のあったことにつきまして、各本部員は必要な対応をお願いいたします。

以上をもって、新型コロナウイルス感染症対策本部の第101回本部会議を終了します。

（了）